

病院だより38



院外処方Q&A

美祢市立病院薬剤科

美祢市立病院では、昨年10月4日から、外来患者さんの薬を原則、全ての診療科で「院外処方」としました。院外処方開始以来、病院の受付窓口などにさまざまな意見をいただいています。それらの意見や、再診患者さん満足度調査(11月1日～11月22日実施)においていたい意見を基に「院外処方Q&A」を作成しました。

この院外処方Q&Aを参考に院外処方の実施にご理解と協力をお願いします。

A 国(厚生労働省)の方針	Q なぜ、院外処方にしたのですか?
----------------------	--------------------------

A 院外処方せんは「保険薬局」、「保険調剤」、「処方せん受付」などの表示があります。自分の都合のよい保険薬局を選んでください。また、同じ薬局(「かかりつけ薬局」)で薬を受け取ることにより、複数の医療機関で処方された薬の重複、飲み合わせ、過去にアレルギーを起こした薬がでていなかなどをチェックするこにより、副作用などを未然に防ぐことができます。	Q 院外処方せんを持って行つてもよいのですか?
--	--------------------------------

A 市立病院の薬剤師は、入院患者さんの入院から退院までの薬の管理を主に行うようになりました。患者さんが入院時に他の病院・診療所で出された薬を持参しているときには薬のチェックや病室を訪問しています。また、抗がん剤や高カロリー輸液などの注射薬の調製などの業務を行っています。	Q 院内の薬局はなくなつたのですか?
--	---------------------------

A 車椅子利用者や体の不自由な人には不便ではないですか?	Q 車椅子利用者や体の不自由な人には不便ではないですか?
-------------------------------------	-------------------------------------

A 大変、不便をおかけして申し訳ございません。一定の条件を満たせば、保険薬局が宅配できる場合があります。遠慮なく病院窓口、FAXコーナー、保険薬局などで相談ください。	Q 院外処方せんを持つて行くのを忘れることがあります。いつまでに保険薬局に持つて行けばいいですか?
--	--

問合せ先 美祢市立病院
〔008337(52)1700〕

A まだまだ説明不足などにより、ご迷惑をおかけしていますが、美祢薬剤師会など機関と協議しながら、問題点など解決していくとい考えています。不明な点などございましたら、当院窓口、FAXコーナー、保険薬局などでお気軽に相談ください。	Q 院内で薬を受け取つている人もいるようですが?
--	---------------------------------

A 交通事故・労災事故などで受診した人、透析をされた人、院内特殊製剤を使用する人など、主に保険などの関係で、例外的に院内で薬を出す場合があります。	Q 院外処方せんを保険薬局にファックスで送ることができますか?
--	--

市長と語る未来創造まちづくり座談会結果報告

●開催日等

日 時 11月24日㈭ 18時～20時
会 場 真長田公民館大ホール

●出席者

市：市長、副市長、部長級職員、事務局(地域情報課)
参加者：25名

●提案内容

【提案】

船窪山斎場の存続、老朽化による建て替えについて。
人口問題、市の職員でありながら市外に居住する職員がいるが、市内に居住するよう指導しているか。また、美祢社会復帰促進センター職員、家族及び受刑者は美祢市の人口に反映されているのか。賃貸住宅等を建設するなど、今後の人団増対策はどのようにお考えか。

配食サービス報道について、今後の対応はどのようにお考えか。 (男性)

【回答】

現在美祢市では、美祢市斎場「ゆうすげ苑」と船窪山斎場の2カ所の斎場の管理運営を行っています。船窪山斎場は、ご指摘のとおり建物は老朽化が進んでいますが、火葬炉については、毎年、点検整備を計画的に実施し、適切に使用できる状態を維持しています。

たしかに、ご提案のとおり建て替え、改修工事をすればすばらしい施設になるかもしれません、市民の方の要望を全て聞き入れてしまえばそれだけコストがかかるものですし、美祢市の財政が破綻してしまいます。

今後においては、建て替えすべきか、または1カ所に統合すべきか、十分検討した上で、市民の皆様に最も良い方法で進めいきたいと考えます。

市の職員の住居についてですが、現在市外あるいは県外から多くの者を職員として採用しているため、職員に住居を強制的に美祢市に移させることは法律上困難です。しかしながら、美祢市の職員であるならば、職員一人ひとりには自覚して欲しいと感じています。

美祢社会復帰促進センター職員、受刑者が美祢市の人口に反映されるかとのことです、刑務官、民間職員は当然ながら美祢市に在住していれば反映されます。受刑者については、住民票上に記載はされませんが、国勢調査、地方交付税の対象人口にはなりますので、美祢市の人口に反映されています。

人口定住対策としては、この真長田地区は、県央地域への通勤通学の利便性が良いこと、また人的物的交流の拠点を担っていることから、今後さらに定住人口の増加につながる取り組みを進めていきたいと考えます。また、リーディングプラザ十文字工業団地の企業誘致にも一層力を注いでいきたいと考えます。

配食サービスについて、市は配食サービス事業者に対して、過払い等の損害賠償を請求することと、市がこの金額を配食サービス事業者へ請求しないことは違法であるとされました、これは1社に対する請求であるため、この判断を容認することは、配食サービス事業を実施している他の事業者や同様なかたちで実施している多くの地方公共団体に与える影響は大きく、市民の皆様の安全・安心を確保するためのサービスの低下や衰退を招きかねないと危機感から、弁護士と協議した結果、控訴したところです。

今後は、この裁判の動向を注視しながら、市の立場を主張したいと考えています。 (市長)

【提案】

美祢市において真長田地区をどのような位置づけとして認識しているのか。また、今後どのような政策をお考えか。

十文字工業団地について、今後の進展について。

ふるさと未来創造交付金事業の継続、助成について、今後はどのようにお考えか。 (男性)

【回答】

真長田地区は、美祢市において県央に繋がる「東の玄関」となる位置づけにあります。特に山口・小郡に隣接し、経済圏も密接に関係する県央地域への通勤通学等の利便性が良いことから、白土団地、長田団地をはじめ、定住人口の増加につながる重要な地域だと認識しています。また、国道沿線にある「直売所みとう」が人的物的交流の拠点を担い、美祢市の農産物を市内外へ提供する農林産業の振興ゾーンとしての機能を果たす重要な地域であることも認識しています。地域の持つ特性の伸長は活性化対策として非常に重要であるので、定住人口の増加につながる取り組みを進めるとともに自然環境を最大限に活用した産業の振興を図り、地域に住む住民が共通の認識を持って地域課題へ取り組める環境を整備し、活性化を図りたいと思います。

リーディングプラザ十文字工業団地については、平成20年に進出した(株)クリーン技研山口工場を含め、現在9区画において約170名雇用していただき企業活動を行っています。このリーディングプラザ十文字工業団地の残地については、工場進出の引き合いも何件かありますが、昨今の経済情勢、なかなかうまく進まないのが現状です。しかしながら、美祢市としては先月、美祢工業団地でトーフレ(株)の誘致を行い、数年先には多くの地元雇用の見通しを得ることができました。今後については、新たな企業情報の収集や美祢市の工業団地の状況、特に地震の少ない地域であることなどの発信を行い、引き続き精力的に企業誘致に力を注いでいきます。

ふるさと応援未来創造交付金は、地域の皆様が共有した認識のもと地域の課題解消に向けた取り組みを行い、地域力を育て活力あるふるさとづくりの基盤となることを期待して実施しています。これから、人口減少社会へ突入し、何もしなければ自然に減少を続けてしまうのですが、その中で地域をより活性化させていくのは、地域の方一人ひとりのもつ市民力が原動力となります。この力を大いに發揮できる取り組みは、非常に重要であると思いますので、こうした交付金事業が地域の活性化の手助けになればと思っています。 (市長)